



数理モデルによる生物群集、生態系の研究

工学部 環境エネルギー学科／数理生態学、理論物理学

穴澤 正宏 ANAZAWA Masahiro

教授、博士（理学）

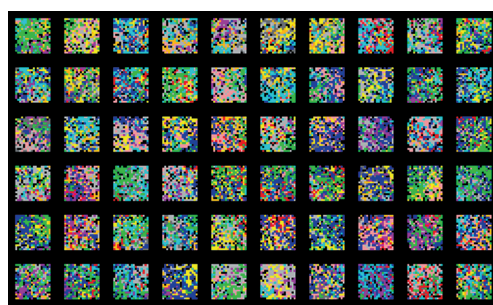


1. 研究内容

自然の中では、さまざまな生物が共存しています。種多様性を維持しているメカニズムや、生態系の持続可能性などについて、数理モデルとコンピュータを使って研究しています。

2. 地域・産学連携の可能性

私の研究は自然科学の研究となるので、地域・産学連携を意図したものではないが、「数理モデルによる解析」という研究手法は、生態学だけでなく、身近なさまざまな現象を理解したり、予測したりする際に、有用なツールとして応用できると考えている。



執筆論文

Individual-based competition between species with spatial correlation and aggregation (Bulletin of Mathematical Biology, 76, 1866-1891)



数理モデル、生態学、種多様性、持続可能性